

平成 21 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	医用画像に基づく計算解剖学の創成と診断・治療支援の高度化	
領域代表者名	小畑 秀文 （東京農工大学・本部・学長）	
研究期間	平成 21 年度～ 25 年度	
<p>【科学研究費補助金審査部会における所見】</p> <p>本研究領域は、計算機支援診断・計算機外科の共通基盤となりうる新しい解剖学として、膨大な医用画像を計算機により理解し人体の仮想的な解剖を可能にする計算解剖学の構築を目指したものである。高度医療の実現に向けて極めて重要性が高く、社会ニーズに適合した目的設定となっており、近い将来の医学での応用への大きな寄与が期待できる。計算解剖学の基盤的な手法を開発するための 5 年間の計画は良く練られており、明確な指針を持った領域代表者の下、計画研究を 3 つに分けて効率よく進めようとしている。新たな学理の創造ならびに臨床への展開という二つの側面での発展を期待する。</p>		